日本統合医療学会 会報
IMJニュース
No.24
2016年12月1日発行

編集･発行　一般社団法人日本統合医療学会広報委員会 委員長　川嶋みどり　URL：http://imj.or.jp/
〒981-0932　宮城県仙台市青葉区木町5-29　菅原ビル2-A
一般社団法人日本統合医療学会事務局　E-mail：imj@imj.or.jp　TEL：022-341-2410

TOPICS

第20回日本統合医療学会総会･学術大会参加のお誘い

関　隆志
第20回日本統合医療学会プログラム委員長
東北大学CYRIC

第20回日本統合医療学会総会・学術大会は大会長山家智之のもと，あやしいものでもなんでも本当に効くのか効かないか検証してみせるぞ，というくらいのすごい勢いで準備を進めております。そう簡単ではないわけですが……

限られた予算のなかで，招待演者の方への謝礼や旅費に悩みながら，多くの方々の温情に甘えさせていただき何とか素晴らしいプログラムができてまいりました。

メインの特別講演は，食のスペシャリスト服部栄養専門学校理事長の服部幸應さんにお話しいただき，それに引き続いて「食と健康」のシンポジウムが開催されます。法制度や教育などの面でトラブルが生じがちなわが国の徒手療法のシンポジウムでは，これからの進むべき道を模索します。20を超えるシンポジウムとワークショップなど，オーガナイザーの方々の熱意が伝わってくる内容となっております。

統合医療を多角的に一望できる会になりそうです。クリスマスというとんでもない時期の開催ですが，ぜひとも仙台に足をお運びください。この時期は，学会場からすぐの常禅寺通りで「光のページェント」が開催され，仙台でもっともロマンチックなイベントをお楽しみいただけます。多数のご来場をお待ちします。

開催概要

日時　2016年12月23日(金)～25日(日)
会場　東北大学医学部 星陵キャンパス
星陵オーディトリアム・艮陵(ごんりょう)
会館・加齢医学研究所国際会議場
〒980-8575　仙台市青葉区星陵町

第20回日本統合医療学会総会・学術大会　プログラム概要

【大会長講演】12月24日（土）13：00～13：50
「統合医療の『脈診』に，科学の光を当てる」
演者　山家智之（東北大学加齢医学研究所）
座長　渥美和彦（日本統合医療学会名誉理事長）

【理事長講演】12月25日（日）13：30～14：20
「日本における統合医療の課題と展望」
演者　仁田新一（日本統合医療学会理事長）
座長　山家智之（東北大学加齢医学研究所）

【特別講演１】12月24日（土）13：50～16：40
「パラダイムシフトを起こす統合医療」
演者　渥美和彦（日本統合医療学会名誉理事長）
座長　仁田新一（日本統合医療学会理事長）

【特別講演２】12月25日（日）9：00～10：00
「食と健康」
演者　服部幸應（学校法人服部学園）
座長　烏帽子田彰（広島大学）

【教育講演】12月24日（土）14：40〜15：30
「ここからは専門医へ相談を＝高血圧治療の現場から」
演者　宗像正徳（東北労災病院）
座長　関隆志（東北大学）
【市民公開講座】12月25日（日）14：30〜16：00
「こどもの心のケア」
講演　渡邊久子
（渡邊醫院LIFE DEVELOPMENT CENTER）
座長　板村論子（安田病院）
鼎談　渡邊久子，板村論子，川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）
【シンポジウムなど】12月23日（金）午後
「地域医療における漢方と鍼灸のコラボレーション」
座長　関隆志（東北大学），上馬塲和夫（帝京平成大学）
演者　関隆志，磯部秀之（埼玉医科大学），山本竜隆（朝霧高原診療所），平井萌絵（国際統合治療協会）
「新経絡療法と難治性疾患」
座長　宇土博（友和クリニック）
演者　宇土博，三橋徹（田島診療所），平郡恵子（キヨセ北口皮フ科）
【シンポジウムなど】12月24日（土）午前
「統合医療の理念は現代西洋医学を超えることが可能か—史的教訓と実践をツールとして」
座長　仁田新一（東北大学名誉教授），川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）
演者　伊藤壽記（大阪大学），木村慧心（日本ヨーガ療法学会），猪股千代子（札幌市立大学），矢野忠（明治国際医療大学），大塚晃志郎（ホリスティック医学研究所）
「認知症に対する鍼灸治療」
座長　松浦正人（日本鍼灸師会）
演者　松浦正人，兵頭明（後藤学園），吉村春生（日本鍼灸師会）
「アロマセラピー」
座長　塩田清二（星薬科大学）
演者　鳥居伸一郎（鳥居泌尿器科内科），神保太樹（星薬科大学），千葉直樹（石川島記念病院），所澤いづみ（メディカルアロマ＆リフレTori）
「統合医療に科学・EBMの光を支部から」
座長　福沢嘉孝（愛知医科大学病院），赤木純児（玉名地域保健医療センター）
演者　神保太樹（星薬科大学），秋山真一郎（未来がん国際クリニック），原豊（オライオンジャパン），赤木純児（玉名地域保健医療センター），篠原昭二（九州看護福祉大学）
「九州ブロック推薦演題」
座長　古賀伸彦（新古賀病院）
演者　蒲原聖可（健康科学大学・DHC），鈴木静子（新潟県ヨーガ療法士会）
【シンポジウムなど】12月24日（土）午後
「統合医療に科学の光を日本から」
座長　山家智之（東北大学加齢医学研究所）
演者　柴田眼治（水生会柴田病院），関隆志（東北大学）
「医工学と統合医療」
座長　磯山隆（東京大学），田中明（福島大学）
演者　田中明，井上雄介（東北大学），山田昭博（東北大学），坪子侑佑（東北大学），平恭紀（東北大学）
「統合医療としてのサプリメント・機能性食品の適正使用に向けた現状と課題」
座長　蒲原聖可（健康科学大学・DHC）
演者　寺崎哲也（東北大学），大野智（大阪大学），蒲原聖可
「がんと統合医療」
座長　伊藤壽記（大阪大学）
演者　大野智（大阪大学），辻本貴江（神戸学院大学），岡孝和（九州大学病院），山下仁（森ノ宮医療大学），所昭宏（近畿中央胸部疾患センター）
「災害支援とヨーガ療法」
座長　佐藤美弥子（日本ヨーガ療法協会）
演者　毛塚由希子（日本ヨーガ療法学会），善如寺留美子（日本ヨーガ療法学会），岩田昌美（大阪大学），古市佳也（西宮ヨーガ療法研究センター）
「災害時の食べる支援」
座長　赤木純児（玉名地域保健医療センター），社本博（南相馬市立総合病院）
演者　社本博，一瀬浩隆（あい訪問歯科クリニック），前田圭介（玉名地域保健医療センター），榎本淳子（玉名地域保健医療センター）
「災害と統合医療」
座長　吉田紀子（済生会），高橋徳（ウィスコンシン医科大学），赤木純児（玉名地域保健医療センター），高山真（東北大学），小野直哉（未来工学研究所），林紀行（大阪大学）
演者　佐藤喜久二（総合防災ソリューション），小早川義貴（国立病院機構災害医療センター），佐藤裕和（岩沼市社会福祉協議会），大政朋子（アムダ），三輪正敬（災害鍼灸マッサージプロジェクト），佐藤美弥子（日本ヨーガ療法学会），川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授），吉田紀子（済生会）

「慢性腎臓病・維持透析患者の統合医療」
座長　鈴木洋通（武蔵野徳洲会病院），山口智（埼玉医科大学）
演者　土田雅章（川口六間クリニック），松本淳（岐阜大学），小俣浩（埼玉医科大学），茂原仁（腎・循環器もはらクリニック）
「腰痛に対する医学・相補代替療法の臨床」
座長　大谷晃司（福島県立医科大学），竹谷内克彰（東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック）
演者　大谷晃司，三輪健彦（東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック），山下仁（森ノ宮医療大学），木村宏輝（東邦大学医療センター大橋病院），川嶋朗（東京有明医療大学），関隆志（東北大学）
「日本統合医療学会支部報告会」
座長　古賀伸彦（新古賀病院）
「熊本地震に遭遇して…統合医療の役割と問題点（実際の活動を通して）」
座長　赤木純児（玉名地域保健医療センター），
演者　久木山厚子（宇土中央クリニック），富岡楓實代（日本ヨーガ療法学会），山内晶子（御幸病院），児玉敬三（鹿児島県栄養士会）
「多職種協同ワークで浮かび上がる統合医療の本質―ディープ・アクティブ・ラーニングの活用―」
座長　大瀧真美（ライブフォレスト桑園メンタルクリニック），吉武ゆり（日本ヨーガ療法学会），猪股千代子（札幌市立大学）
【シンポジウムなど】12月25日（日）午前
「食と健康」
座長　関隆志（東北大学）
演者　辰巳洋（本草薬膳学院），上馬塲和夫（帝京平成大学），助川宏子（Macrobiotic TSUBAKI），南村愛（見附市立病院），関隆志
「先端技術と統合医療―AI（人工知能）は医療職の職を奪うか？」
基調講演　松原仁（はこだて未来大学）
座長　磯山隆（東京大学）
「先端技術と統合医療」
座長　小野直哉（未来工学研究所），大野智（大阪大学）
総括　後藤修司（後藤学園），伊藤壽記（大阪大学）
演者　酒谷薫（日本大学），遠藤恵美子（武蔵野大学名誉教授），平井みどり（神戸大学），森本義朗（国際統合リハビリテーション協会），渡邉勝之（明治国際医療大学）
「持続可能な地域包括ケアシステムの構築と統合医療・社会モデル」
座長　福岡博史（福岡歯科），吉田紀子（済生会）
演者　蒲原聖可（健康科学大学・DHC），福岡博史，坂本昭文（IMJ山陰支部），八田冷子（鹿児島純心女子大学），吉田紀子
「各手技療法の手技および理論からみた独自性と多様性」
座長　川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）
演者　相原由花（ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院），小野久弥（カイロプラクティックセンター加古川），目時誠（宮城県柔道整復師会）
「音楽療法の魅力と実践」
座長　板東浩（きたじま田岡病院/徳島大学）
演者　佐治順子（宮城大学），智田邦徳（東北音楽療法推進プロジェクト），板東浩
「地域医療と統合医療―他分野連携による未来医療の可能性―」
座長　一石英一郎（国際医療福祉大学病院），芳賀博（緑の里クリニック）
演者　一石英一郎，鎌田穣（黒川内科），谷山洋三（東北大学），屋比久勝子（琉球温熱療法院），芳賀博，高橋悦堂（普門寺），高橋信博（玉名地域保健医療センター），岡田昌義（神戸健康大学）
「筋骨格系症状に対する徒手療法の実際～統合医療の実践～」
座長　小池弘人（小池統合医療クリニック），竹谷内克彰（東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック）
演者　竹谷内康修（竹谷内医院），石垣英俊（神楽坂ホリスティック・クーラ），吉川祐介（ウイケアカイロプラクティック），佐藤宗延（サンスマイル八王子），田中和恵（GREENFOREST）
「医業類似行為・相補代替療法の社会化に向けて～現状と課題～」
座長　関田康慶（東北大学名誉教授），竹谷内啓介（日本カイロプラクターズ協会）
演者　蒲原聖可（健康科学大学・DHC），板村論子（安田病院），木村慧心（日本ヨーガ療法学会），山口登一郎（日本柔道整復接骨医学会），竹谷内啓介（日本カイロプラクターズ協会），坂部昌明（森ノ宮医療大学）
【シンポジウムなど】12月25日（日）午後
「リハビリテーションと統合医療」
座長　山本竜隆（朝霧高原診療所），林紀行（大阪大学）
演者　山本竜隆，森本義朗（国際統合リハビリテーション協会），渡邉哲（まちの保健室まごころ），比嘉菜津美（女性専門CLINICAL TOTAL BODY CARE）

「国内の徒手療法：おもに教育，制度の面から」
座長　関隆志（東北大学）
演者　笹田三郎（Thusare Talking Hands Guarantee Ltd.），中村あづさ（中村整骨院），勝浪省三（医療法人葵会），寛田司（医療法人社団飛翔会），山崎善秀（カイロプラクティック三豊中央院），村上佳弘（東京・カレッジ・オブ・カイロプラクティック），新開庸雅（あべの ついな整体院）
「認知判定とヨーガ療法」
座長　木村慧心（日本ヨーガ療法学会）
演者　木村慧心，青木滉一郎（早稲田大学），鎌田穣（黒川内科），冨岡いずみ（ヨーガ・スペース・プラシャンティ）
「山形の保養施設を巡って地形気候療法の可能性を探る」
座長　宮林隆夫（フローラさいせい）
総括　平野文夫（竹村医院レディスクリニック）
演者　高橋誠一郎（七日町メンタルクリニック），藤麻美子（日本丹田呼吸法セラピー協会），武田洋子（山形大学），桜井文明（寒河江市立病院）

【一般演題】 12月24日（土）・12月25日（日）
看護／鍼／鍼灸漢方／Oリング／食事療法／ホメオパシー／カイロプラクティック／アロマセラピー／医工学／その他

【併催学会】
第34回日本歯科東洋医学会学術大会
大会長　福岡博史
12月23日（金）13：00～
総合受付：星陵オーディトリアム（受付開始12：00～）

【各種委員会】
■統合医療モデル推進委員会
12月23日（金）14：30～16：30
（星陵オーディトリアム大会議室）
■第21回日本統合医療学会実行委員会
12月23日（金）15：00～17：00
（加齢医学研究所中会議室）

【理事会・会員総会】
■一般社団法人日本統合医療学会理事会
12月23日（金）17：00～19：00
（星陵オーディトリアム大会議室）
■会員総会
12月25日（日）13：00～13：30
（星陵オーディトリアム講堂）

【認定試験】
日時：12月25日（日）16：15～17：15
会場：加齢医学研究所基礎研究棟７階セミナー室
受付：16：00から

支部だより

群馬県支部誕生

｜岡　美智代｜
日本統合医療学会群馬県支部長
群馬大学大学院保健学研究科教授
｜善如寺　留美子｜
事務局長

2016年７月24日，群馬大学昭和キャンパスにて，日本統合医療学会群馬県支部設立総会及び記念講演会が開催され，21番目の支部が群馬県に誕生しました。

会員は64名，記念講演会参加者は71名参加。支部設立総会参加人数は歴代2番目に多いとのことでした。

はじめに岡支部長より「群馬県は，糖尿病全国３位，高血圧全国７位。慢性疾患で長期的な患者様が多い。西洋医学ではなかなか解決しないなかで，東洋医学と統合して治療することが求められている。未病，慢性疾患の改善のために統合医療は，群馬では大きな意味をもつ」と，力強い挨拶がありました。

小川恵子群馬県看護協会会長からは，「群馬県の人口の27.4%が65歳以上，その28%が何らかの重複した疾患をもち，長い間床に臥せっている。また，県民の健康寿命は長いが，平均寿命が短い。この課題をどうしていくかが今問われている。西洋と東洋の融合は素晴らしく，これを利用して県民の健康の力を作っていくことが大切」との暖かいお言葉を，いただきました。

角倉邦良・後藤克己県議お二人からは，「群馬県では統合医療の理解があまり進んでいないのではないか。西洋医学のみを信頼し，統合医療には，まだ偏見をもっているように思われる。これらの考えを変えるために頑張っていきたい」と，政治という立場で挨拶をいただきました。

また，記念講演会では，仁田新一理事長，木村慧心先生，小池弘人先生から講演を頂戴し，その新しい風に，

群馬県支部

参加者から熱い声援が送られていました。

講師の先生方からは「さすが“かかあ殿下”の群馬，支部長も女性。参加者も女性が多いですね」，こんなお言葉をいただきました。働き者が多く，昔から女性が家庭をささえきた群馬県気質で岡支部長とともに群馬の統合医療学会群馬県支部を発展させてまいる所存です。

支部設立となりましたが，これからの課題が山積です。会員の皆様とともに統合医療の普及と豊かな社会を目指して努力してまいります。

今後の皆様のご協力，ご支援をよろしくお願いいたします。

●日本統合医療学会群馬県支部

〒370-0071　群馬県高崎市小八木町2026-6

TEL　027-363-6474

FAX　027-363-6474

支 部 長　岡　美智代

事務局長　善如寺　留美子

支部だより

山陰支部設立記念講演会
ー豊かな自然と多くの古墳が集う日本の里で

｜福田　克彦｜

日本統合医療学会山陰支部副支部長
統合医療センター福田内科クリニック副院長

このたび10月１日に日本統合医療学会では22番目の山陰支部が設立され，同日より２日間にわたって鳥取県南部町のまんてんホールと島根県立大学出雲キャンパスにて設立総会と記念講演会が開催されました。

山陰支部長に就任した坂本昭文南部町町長は，全国の地域包括ケアシステム構築の拠点として，来るべき超高齢社会を迎えるにあたり「人の絆のぬくもりある癒しと予防」を備えた地域創生において，かねてから住民主体の医療システムと社会システムとの統合に取り組まれており，全国初である２県（鳥取・島根）合同支部と自治体トップの支部長が誕生致しました。

記念講演会のはじめには，仁田新一理事長にご講演いただき，人工心肺や心電計の研究開発から遠隔医療システムの構築など渥美和彦先生に師事された若かりし時代の功績から，今日の日本の統合医療の沿革や現状，東北地方における震災被災地での支援活動やこれからの全国学会支部の在り方，未来型統合医療の展望などについてわかりやすく解説していただきました。

鹿児島県支部支部長の吉田紀子先生には，同県内で取り組まれている全人的健康増進や疾病予防による人と地域の進化をめざすHolistic Health Careによる自律支援と共生支援との連帯基盤形成によって，健康寿命延長やQOL向上など全人的健康づくりの実践や今後の地域保健対策について御講演いただきました。

昨年末に第19回日本統合医療学会を主催された山口県支部支部長の柴田眼治先生には，創立12年目となった山口県内の各支部における10部会の活動報告や，因幡や出雲地方など山陰各地に古代から伝承されてきた神話や民間医療と現代の臨床医療との整合性やエビデンスについて丹念に検証され，山陰支部が今後に目指す方向性を御啓示いただきました。

日本て・あーて，TE・ARTE，推進協会代表理事で，日本統合医療学会副理事長でもある川嶋みどり先生には，看護師として専念すべき職分や，自然の癒しの泉である触れる手・癒す手・あいだをつなぐ手からはじまる看護の時代の幕開け，すなわち治す医療から自然の回復過程を整える医療による人間性やQOLを重視した高度慢性医療への転換についてご講演を賜り，当学会山陰支部顧問として統合医療と看護を繋ぐ自然治癒とセルフケア中心のセンター構想についてもご教授いただきました。

懇親会では南部町を拠点に活動中の音楽ユニット，マイトリーさんのミニライブが催され，森田さやかさんの歌声や音楽療法に携わられている田村梓さんのピアノに癒され，最後は仁田理事長の音頭で「ふるさと」を大合唱し，まんてんの星空のもとお開きとなりました。

日本ヨーガ療法学会，南部町役場やMOA山陰地域関係者，椿セラピー協会をはじめ，医師会・看護協会，各自治体の健康福祉部，そして日頃から地域医療を支えてくださっている治療家や住民の皆さまから多大な御支援・御尽力を頂き，両日とも盛大な会を開催することができたことに山陰支部学会員・坂本支部長・木村慧心副

山陰支部

支部長共々感謝申し上げます。

来年10月29日には，「出雲神話と未来医療の統合」（仮題）をテーマに松江市近郊において第２回の日本統合医療学会山陰支部総会および講演会を予定しております。

今後ともかわらぬご指導・御鞭撻の程，何卒宜しくお願い申し上げます。

●日本統合医療学会山陰支部

〒683-0842　鳥取県米子市三本松1-2-24
（日本ヨーガ療法学会事務局内）

TEL　0859-32-1557

FAX　0859-30-3859

支 部 長　坂本　昭文

事務局長　福永　充朗

新刊紹介　2016年12月刊行

ケアのなかの癒し　原著第７版

統合医療・ケア実践のためのグローバルスタンダード

ルース・リンクイスト
マラヤ・スナイダー
メアリ・フラン・トレーシー　編
尾﨑フサ子・伊藤壽記　監訳

B5判　448ページ
定 価　5,600円＋税
発 行　看護の科学社

統合医療・ケアのグローバルスタンダード・テキスト最新版！

- 統合医療に関する最新の知見でアップデート
- 世界各地で用いられている療法を網羅
- 米国国立補完代替医療センターの最新情報と最新分類を紹介/他

【目次】

刊行に寄せて　川嶋みどり
監 訳 者 の 序　尾﨑フサ子/伊藤壽記
序
第Ⅰ部　実践のための基礎
第１章　補完代替療法の発展と利用
第２章　補完療法：看護師のセルフケア
第３章　プレゼンス（寄り添う療法）
第４章　治療としての傾聴
第５章　癒しの至適環境づくり
第Ⅱ部　マインド（心）・ボディ（身）・スピリット・セラピー
第６章　イメージ療法
第７章　音楽による介入
第８章　ユーモア
第９章　ヨーガ
第10章　バイオフィードバック
第11章　瞑想
第12章　祈り
第13章　ジャーナリング
第14章　読み語り療法
第15章　動物介在療法（ペットセラピー）
第Ⅲ部　徒手および身体療法
第16章　マッサージ
第17章　太極拳
第18章　リラクセーション
第19章　運動
第Ⅳ部　天然素材を用いた療法
第20章　アロマセラピー
第21章　ハーブ療法
第22章　機能性食品と栄養補助食品
第Ⅴ部　エネルギー療法
第23章　光療法
第24章　ヒーリングタッチ
第25章　レイキ（霊気）
第26章　指圧
第27章　リフレクソロジー
第28章　磁気療法
第Ⅵ部　教育・実践・研究
第29章　補完療法を教育の中で統合すること
第30章　補完療法を看護実践にとり入れるには
第31章　さらなる研究への展望

事務局だより

【会議開催報告】

- 2016年9月5日　企画委員会（八重洲ルノアール）
- 2016年10月5日　企画委員会（八重洲ルノアール）
- 2016年10月11日　事務局会議（仙台，本部事務局）
- 2016年12月5日　企画委員会（八重洲ルノアール）開催予定

【学会事業報告】

- 2016年9月10日，11日第2回九州ブロック大会（鹿児島）
- 2016年10月1日　山陰支部設立総会（鳥取）
- 2016年11月12日，13日　平成28年度第2回認定資格セミナー（東京大学医学部教育研究棟）

【今後の学会事業予定】

- 2016年12月23日　平成28年度定例理事会（東北大学）
- 2016年12月24日，25日　第20回日本統合医療学会大会（東北大学）
- 2016年12月25日　平成29年度定時社員総会（東北大学）

（文責：事務局長　河野　明正）

編集後記

●全国各地の活発な支部活動は，統合医療の理念とその有用性を普遍化する上で大きな力になることでしょう。学術大会が終わると間もなく2017年，干支は酉（とり）で成果の現れる年ですとか。トランプ新政権の行方も気になることですが，私たちは初心を貫き統合医療の質を高めて健康を希求する多くの人々の力になることを目ざしたいと思います。みなさまどうぞよいお年を。平和を祈念しつつ。（川嶋みどり）